

事業所における自己評価結果（公表）

公表:令和 5年 3月 1日

事業所名 ゆめクラブ

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	9	0	2	更衣室の間仕切りを、取り外しのできるカーテンにすることで、着替え以外の時間は活動部屋としてワンフロアで広く使えるようにしています。	
	②	職員の配置数は適切である	7	0	4	子どもの状況や利用人数によって適切な職員配置をしています。学習会や研修等を通し、職員・スタッフのスキルアップを図っています。	
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	9	0	2	完全なバリアフリーにはなっていませんが、衝撃吸収力のあるスポーツマットを全面に使用し、段差も極力なくしています。トイレも段差のない設計にしています。トイレの便座は暖房便座にすることで、冬場の温度差を軽減するようにしています。	入口に手すりをつけることを検討しています。
業務 改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	8	2	1	日々のスタッフミーティング(全スタッフ参加)にて行っています。	日々のスタッフミーティングではすべての把握は難しいため、職員よりポイントを絞って目的や現在の様子、課題など共有しています。また、支援内容の振り返りも行っていますが、個別に行っていることが多いので、今後は皆で意見交換できる場等設けて行きたいです。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	9	2	0		
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	9	2	0		
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	4	4		第三者評価の為の予算が組めない状況です。第三者評価を受けられるよう費用補助等行政の助成を求めています。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7	1	3	法人で年5回の内部研修の場を設けています。その他放課後連等所属グループの学習会、外部研修会に参加しています。	コロナ前まで行っていたスタッフ学習会などができていない状況でしたが、今後はスタッフ学習会も開催する方向です。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	9	1	1		作成しています。計画については、日々のミーティングの中で課題や目標についてスタッフと共有しています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8	2	1		現在法人での発達検査は休止中となっていますが、個々で行った知能検査・発達検査の結果は共有し、個々の状況の把握に使用しています。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	10	1	0		
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	9	1	1	メインの活動は曜日で決めながら、子ども達のその時々興味・関心、発信を大事に、意見も取り入れながら工夫して行っています。	
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	9	1	1		
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	9	2	0		
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の内容や役割分担について確認している	11	0	0	ミーティングを行い確認しています。	
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	9	1	1	活動前に毎日ミーティングを行い、振り返り、課題の整理、今日の活動についての配慮やポイントを確認しています。活動後の時間は、活動記録の記録時間としています。		
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	11	0	0	担当職員が毎回活動記録をつけています。日頃より全職員が活動を振り返るため読み返し、支援の検討・改善につなげています。	スタッフの記録については前向きに検討しています。現在は活動終了時間が勤務終了時間となっている為、記録時間の確保、スタッフへのフィードバックなど課題を整理して、どのような形でできるか
	⑱	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	10	1	0	年に2回行っている(面談・電話)	
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	8	2	1	行っています。	
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8	3	0	事前に状況・情報を職員間で共有し方向性を持って担当者が参加している。	
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	6	4	1	行っています。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携 関係機関や保護者との連携	②②	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	3	6	2	現在は該当者がいません。受け入れの際は保護者を通じての連絡体制を整えます。	通院の同行も考慮します。
	②③	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	6	4	1	中高生対象の為、保育園・幼稚園と直接のやりとりはありませんが、必要に応じて行います。	
	②④	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	7	3	1	保護者を通じて、提供していただくようになります。	
	②⑤	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	7	3	1	連携をとり、情報の共有・助言を受けています。必要に応じて活動を見に来ていただくこともあります。	
	②⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	2	3	6	図書館・公園を利用しています。コロナ以前は地域の児童館に遊びに行ったり、長期休みに高校生ボランティア(活動体験)の受け入れも行っておりましたが、現在は利用を控えています。また、外出活動で科学館や博物館を利用し、遊具など共有したり、順番に使用する経験をしています。そのような機会があった場合は毎月のおたよりにて保護者にお知らせしています。	
	②⑦	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加している	7	3	1	大田区児童発達支援地域ネットワーク会議等に参加しています。	
	②⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	10	1	0	連絡帳・電話にて共通理解に努めています。必要に応じて面談も行っています。	
	②⑨	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	8	2	1	いわゆるペアレント・トレーニングは行っていませんが、お話を聞く中で、現状の整理や助言を行っています。保護者の方と一緒に考えて行く形をとっています。	
	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8	2	1	行っています。	
③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	9	1	1	主に職員が行っています。	相談がしやすい環境作り、場の提供をしていきます。相談以前のざっくばらんに話ができる場も届けたいです。	
③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	10	1	0	連絡係を設け、保護者に担っていただき、連携を図っています。		

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	9	2	0	情報の共有、確認の体制を作り迅速に対応しています。	
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	10	1	0	毎月一回おたよりを発行。日ごろの活動の様子、子ども達の姿をお伝えしていきます。おたよりは学校や関係施設にも配布し、広く活動を知っていただく機会としています。	
	③⑤	個人情報に十分注意している	11	0	0	十分注意しています。保護者には通所時にスタッフには毎年のスタッフミーティングにて個人情報の扱いについて説明・確認しています。	
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	10	0	1	絵カード、写真、文字におこす(個別のホワイトボード)を用意し、活動の説明、やり取りができるようにしています。子どもによっては用語集をつくって聞き取る方の理解が広がるよう掲示しています。また、保護者との連絡形態として、連絡帳・電話・メールがあります。	
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	3	5	コロナ以前はバザーなど催しを開催し、地域の方と交流を図っていたが、コロナ禍もあり、現在は行えない状況です。	
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	9	2	0	保護者には入室(利用開始)に際しての説明の中でお伝えしています。新型コロナウイルス感染症に関しては状況に応じて変更があった場合はその都度お知らせしています。職員・スタッフには年に1回のスタッフミーティングにて伝えています。	
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	9	2	0	基本的な訓練と共に、紙芝居、絵本、クイズなど子ども達にわかりやすい形も取り入れながら学期に一回行っている。	
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8	3	0	研修を行っている。	
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	7	3	1	面談にて説明しています。	

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
④②	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	8	2	1	保護者を介して対応している。情報はスタッフへ周知し、環境の整備と共に事故等ないようにしている。	
④③	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	3	2	報告書を作成。事例集はありませんが、その都度スタッフミーティングで共有しています。	

この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。